

平成27年度事業報告書

平成27年4月1日から平成28年3月31日

特定非営利活動法人子どもシェルターモモ

1 事業の成果

「子どもシェルター運営事業」「自立援助ホーム運営事業」では、関係機関と連携を図り、困難を抱える子どもの生活や自立に向けての支援を行いました。平成27年1月に女子用自立援助ホーム「茶屋町荘」を廃止後、新たに岡山市内での開設準備を進めてまいりましたが、平成27年10月に女子用自立援助ホーム「あてんぼ」を開設しました。また、シェルターは転居のため平成28年1月より休止しています。

子どもシェルターや自立援助ホームを退所した子どもに対する「フォローアップ事業」や児童養護施設等を退所した子ども・若者に対する「アフターケア事業」では、関係機関と連携して、居場所の提供、生活支援、就労支援、住居支援等を行いました。また、児童養護施設等へ入所中の子どもたちが退所後の社会生活を送る上で必要な知識や社会常識等を学ぶための「児童養護施設等退所前学び事業」を実施し、退所後のアフターケアにも繋がるよう、子どもや施設との関係づくりを行いました。平成28年度からは岡山市の事業として「アフターケア事業」が予算化されることとなりました。これまでの子どもの活動が政策として実現したことはとても大きな喜びです。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の事業名		事業内容		
子どもシェルター運営事業		子どもの緊急避難場所として子どもシェルター「モモの家」を運営。子どもたちが安心して気力を回復できるように寄り添い、次の生活場所が確保できるまで支援を行った。転居のため1月で休止。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成27年4月 ～平成28年1月	非公開	3人	15歳から20歳までの緊急避難を要する女子：利用者5名	16,173

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		男子用自立援助ホーム「おおもと荘」の運営。虐待等の理由から家庭で生活できない子どもたちが働きながら自立することを目標に生活支援を行った。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成27年4月 ～平成28年3月	岡山市北区 下中野	3人	15歳から20歳までの自立を目指す男子：利用者6名	17,288

定款の事業名		事業内容		
自立援助ホーム運営事業		女子用自立援助ホーム「あてんぼ」の運営。虐待等の理由から家庭で生活できない子どもたちが働きながら自立することを目標に生活支援を行った。平成27年10月開所。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成27年10月 ～平成28年3月	岡山市北区 法界院	3人	15歳から20歳までの自立を目指す女子：利用者4名	9,491

定款の事業名		事業内容		
児童養護施設等退所者に対するアフターケア事業		「フォローアップ事業」「アフターケア事業」として他のNPOと連携してアフターケア相談所「en」を開設し、児童養護施設等を退所した子どもや若者が、社会的に自立した生活を送れるよう、居場所の提供、生活支援、就労支援、住居支援等の支援を行った。また、児童養護施設等に入所している15～19歳の子どもに対し、退所後に社会生活を送るうえで必要な知識や社会常識等を学ぶ「児童養護施設等退所前学び事業」を実施した。		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成27年4月 ～平成28年3月	岡山市北区 清輝橋	10人	児童養護施設等を退所した子ども等：利用者のべ424名	3,258

定款の事業名		事業内容		
子どもの問題についての啓発活動		<p>多くの人に困難を抱える子どもの現状を伝え、ボランティアスタッフとして関わる人材を育てるため「ボランティアスタッフ養成講座」を開催した。</p> <p>また、外部からの講演依頼が18件あり、多くの市民の理解を得ることができた。</p>		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成27年10月 ～平成27年12月	岡山市内	3人	ボランティアスタッフ養成講座参加者の べ189名	196

定款の事業名		事業内容		
その他、この法人の目的を達成するために必要な活動		<p>「自立準備ホーム」を運営し、保護観察中の子どもの再犯防止と社会で自立した生活を営むことができるよう、生活支援を行った。</p>		
実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)
平成27年4月 ～平成27年7月	岡山市北区	2人	15歳から20歳までの自立を目指す女子： 利用者1名	196